

2列18:

ヒゼキヤの時.

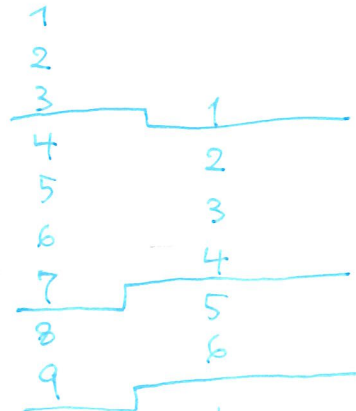
アッシリアにイスラエルが捕囚とる

比

18

1 イスラエルの王エラの子ホセアの第三年にユダの王アハズの子ヒゼキヤが王となった。
 2 彼は王となった時二十五歳で、エルサレムで二十九年の間、世を治めた。その母はゼカリヤの娘で、名をアビと名づけた。
 3 ヒゼキヤはすべて先祖ダビデがおこなったように主の目にかなう事を行い、
 4 高き所を除き、石柱をこわし、アシラ像を切り倒し、モセの造った青銅のへびを打ち砕いた。イスラエルの人々はこの時までそのへびに向かって香をたいていたからである。人々はこれをネボシタンと呼んだ。
 5 ヒゼキヤはイスラエルの神、主に信頼した。そのため彼のあとにも彼の先にも、ユダのすべての王のうちには彼に及ぶ者はなかった。
 6 すなわち彼は固く主に従って離れることなく、主がモーセに命じられた命令を守った。
 7 主が彼と共におられたので、すべて彼が出て戦うところで功をあらわした。彼はアッシリアの王にそむいて、彼に仕えなかった。
 8 彼はベリシテびとを撃ち敗つて、ガザとその領域にまで達し、見張台から堅固な町にまで及んだ。
 9 ヒゼキヤ王の第四年すなわちイスラエルの王エラの子ホセアの第七年に、アッシリアの王シャルマネセルはサマリヤに攻め上つて、これを囲んだが、
 10 三年の後ついにこれを取った。サマリヤが取られたのはヒゼキヤの第六年で、それはイスラエルの王ホセアの第九年であった。
 11 アッシリアの王はイスラエルの人々をアッシリアに捕えていって、ハラと、ゴザンの川ハボルのほとりと、メデアの町々に置いた。
 12 これは彼らがその神、主の言葉にしたがわず、その契約を破り、主のしもべモーセの命じたすべての事に耳を傾けず、また行わなかったからである。

イスラエル 25
 ホセア ヒゼキヤ



ヒゼキヤが王とる。

アッシリアがサマリヤを攻め、

サマリヤを陥落。

アッシリア
 サマリヤが25に攻撃
 アッシリアに主の使いが勝利
 病氣 → +15

(29)

2列23:25
 ヨシヤ

14年目に
 18:13

(29 - 15 = 14)
 15年145年まで

25:18-20: (セツヤ vs セツケリア)

列王記第二 18

13 ヒゼキヤ王の第十四年にアッスリヤの王セナケリブが攻め上つてユダのすべての堅固な町々を取つたので、ユダの王ヒゼキヤは人をラキシにつかわしてアッスリヤの王に言った、「私は罪を犯しました。どうぞ引き上げてください。私に課せられることはなんでもいたします」。アッスリヤの王は銀三百タラントと金三十タラントをユダの王ヒゼキヤに課した。

15 ヒゼキヤは主の宮と王の家の倉とにある銀をことごとく彼に与えた。

16 この時ユダの王ヒゼキヤはまた主の神殿の戸および柱から自分が着せた金をはぎ取つて、アッスリヤの王に与えた。

17 アッスリヤの王はまたタルタン、ラブサリスおよびラブシヤケを、ラキシから大軍を率いてエルサレムにいるヒゼキヤ王のもとにつかわした。彼らは上つてエルサレムに来た。彼らはエルサレムに着くと、布さらし場に行く大路に沿つている上の池の水道のかたわらへ行つて、そこに立つた。

18 そして彼らが王を呼んだので、ヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナ、およびアサフの子である史官ヨアが彼らのところに出てきた。

19 ラブシヤケは彼らに言った、「ヒゼキヤに言いなさい、『大王、アッスリヤの王はこう仰せられる。あなたが頼みとする者は何か。』

20 口先だけの言葉が戦争をする計略と力だと考えるのか。あなたは今だれにたよつて、私にそむいたのか。

21 今あなたは、あの折れかけている葦のつえ、エジプトを頼みとしているが、それは人がよりかかる時、その人の手を刺し通すであろう。エジプトの王パロはすべて寄り頼む者にそのようにする。

22 しかしあなたがもし「われわれは、われわれの神、主を頼む」と私に言うのであれば、その神はヒゼキヤがユダとエルサレムに告げて、「あなたがたはエルサレムで、この祭壇の前に礼拝しなければならぬ」と言つて、その高き所と祭壇とを除いた者ではないか。

23 さあ、私の主君アッスリヤの王とかけをせよ。もしあなたの方に乗る人があるならば、私は馬二千頭を与えよう。

24 あなたはエジプトを頼み、戦車と騎兵を請い求めているが、私の主君の家来のうちの最も小さい一隊長でさえ、どうして撃退することができようか。

25 私がこの所を滅ぼすために上つてきたのは、主の許しなしにしたことであろうか。主が私にこの地に攻め上つてこれを滅ぼせと言われたのだ。』

26 その時ヒルキヤの子エリアキムおよびセブナとヨアはラブシヤケに言った、「どうぞ、アラム語でも何でもに話してください。私たちは、それがわかるからです。城壁の上にいる民の聞いているところで、私たちにユダヤの言葉で話さないでください」。

27 しかしラブシヤケは彼らに言った、「私の主君は、あなたの主君とあなたにだけでなく、城壁の上に座している人々にも、この言葉を告げるために私をつかわしたのではないか。彼らも、あなたがたと共に自分の糞尿を食い飲みするに至るであろう」。

28 そしてラブシヤケは立ちあがり、ユダヤの言葉で大声に呼ばわつて言った。「大王、アッスリヤの王の言葉を聞け。

29 王はこう仰せられる、『あなたがたはヒゼキヤに欺かれてはならない。彼はあなたがたを私の手から救いだす

ことはできない。

30 ヒゼキヤが「主は必ずわれわれを救い出される。この町はアッスリヤ王の手に陥ることはない」と言つても、あなたがたは主を頼みとしてはならない。』

31 あなたがたはヒゼキヤの言葉を聞いてはならない。アッスリヤの王はこう仰せられる、『あなたがたは私と和解して、私に降服せよ。そうすればあなたがたはおのおの自分のぶどうの実を食べ、おのおの自分のいちじくの実を食べ、おのおの自分の井戸の水を飲むことができるであろう。』

32 やがて私が来て、あなたがたを一つの国へ連れて行く。それはあなたがたの国のように穀物とぶどう酒のある地、パンとぶどう畑のある地、オリブの木と蜜のある地である。あなたがたは生きながらえることができ、死ぬことはない。ヒゼキヤが「主はわれわれを救われる」と言つて、あなたがたを惑わしても彼に聞いてはならない。

33 諸国民の神々のうち、どの神がその国をアッスリヤの王の手から救つたか。

34 ハマテやアルパデの神々はどこにいるのか。セパルワイム、ヘンおよびイワの神々はどこにいるのか。彼らはサマリヤを私の手から救い出したか。

35 国々のすべての神々のうち、その国を私の手から救い出した者があつたか。主がどうしてエルサレムを私の手から救い出すことができよう。』

36 しかし民は黙して、ひと言も彼に答えなかつた。王が命じて「彼に答えてはならない」と言つておいたからである。

37 こうしてヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナ、およびアサフの子である史官ヨアは衣を裂き、ヒゼキヤのもとに来て、ラブシヤケの言葉を彼に告げた。

列王記第二 19

1 ヒゼキヤ王はこれを知り、衣を裂き、荒布を身にまとい、主の宮に入り、

2 宮内卿エリアキムと書記官セブナおよび祭司のうちの年長者たちに荒布をまとわせて、アモツの子預言者イザヤのもとにつかわした。

3 彼らはイザヤに言った、「ヒゼキヤはこう申されます、『きようは悩みと、懲しめと、はずかしめの日です。胎児がまさに生れようとして、これを産み出す力がないうのです。』

4 あなたは神、主はラブシヤケがその主君アッスリヤの王につかわされて、生ける神をそしつたもろもろの言葉を聞かれたかもしれませぬ。そしてあなたの神、主はその聞いた言葉をとがめられるかもしれませぬ。それゆえ、この残っている者のために祈をささげてください。』

5 ヒゼキヤ王の家来たちがイザヤのもとに来たとき、イザヤは彼らに言った、「あなたがたの主君にこう言いなさい、『主はこう仰せられる、アッスリヤの王の家来たちが、私をそしつた言葉を聞いて恐れるには及ばない。』

7 見よ、私は一つの霊を彼らのうちに送つて、一つのうわさを聞かせ、彼を自分の国へ帰らせて、自分の国でつるぎに倒れさせるであろう。』

列王記第二 19

8 ラブシャケは引き返して、アッスリヤの王がリブナを攻めていたところへ行つた。彼が王のラキシを去つたことを聞いたからである。

9 この時アッスリヤの王はエチオピアの王テルハカについて、「彼はあなたと戦うために出てきた」と人々がいうのを聞いたので、再び使者をヒゼキヤにつかわして言った、

10 「ユダの王ヒゼキヤにこう言いなさい、『あなたは、エルサレムはアッスリヤの王の手に陥ることはない、と言おうあなたの信頼する神に欺かれてはならない。』」

11 あなたはアッスリヤの王たちがもろもろの国々にした事、彼らを全く滅ぼした事を聞いている。どうしてあなたが救われることができようか。

12 私の父たちはゴザン、ハラン、レゼフ、およびテラサルにいたエデンの人々を滅ぼしたが、その国々の神々は彼らを救つたか。

13 ハマテの王、アルバデの王、セバルワイムの町の王、ヘナの王およびイワの王はどこにいるのか¹」。

列王記第二 19

14 ヒゼキヤは使者の手から手紙を受け取つてそれを読み、主の宮にのぼつて行って、主の前にそれをひろげ、

15 そしてヒゼキヤは主の前に祈つて言った、「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、主よ、地のすべての国のうちで、ただあなただけが神でいらせられます。あなたは天と地を造られました。」

16 主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いてくらくらしてください。セナケリブが生ける神をそしるために書き送つた言葉をお聞きください。

17 主よ、まことにアッスリヤの王たちはもろもろの民とその国々を滅ぼし、

18 またその神々を火に投げ入れました。それらは神ではなく、人の手の作つたもので、木や石だから滅ぼされたのです。

19 われわれの神、主よ、どうぞ、今われわれを彼の手から救い出してください。そうすれば地の国々は皆、主であるあなただけが神でいらせられることを知るようになるでしょう²。

列王記第二 19

20 その時アモツの子イザヤは人をつかわしてヒゼキヤに言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられる、『アッスリヤの王セナケリブについてあなたが私に祈つたことは聞いた』」。

21 主が彼について語られた言葉はこうである、『処女であるシオンの娘は

あなたを侮り、あなたをあざける。

エルサレムの娘は

あなたのように頭を振る。

22 あなたはだれをそしり、だれをのしつたのか。

あなたはだれにむかつて声をあげ、

目を高くあげたのか。

イスラエルの聖者にむかつてしたのだ。

23 あなたは使者をもつて主をそしつて言った、

「私は多くの戦車をひきいて山々の頂にのぼり、

レバノンの奥に行き、

たけの高い香柏と最も良いとすぎを切り倒し、

またその果の野営地に行き、

その密林にはいった。

24 私は井戸を掘つて外国の水を飲んだ。

私は足の裏で、

エジプトのすべての川を踏みからした³」。

25 あなたは聞かなかつたか、

昔私がこれを定めたことを。

堅固な町々をあなたが荒塚とすることも、

いにしえの日から私が計画して

今これをおこなうのだ。

26 そのうちに住む民は力弱くおののき、恥をいだいて、

野の草のように、青菜のようになり、

育たないで枯れる屋根の草のようになった。

27 私はあなたのすわること、出入りすること、

私にむかつて怒り叫んだことをも知つている。

28 あなたが私にむかつて怒り叫んだことと、

あなたの高慢が私の耳にはいつたため、

私はあなたの鼻に輪をつけ、

あなたの口にくつわをはめて、

あなたをもときた道へ引きもどすであろう⁴」。

29 『あなたに与えるしるしはこれである。すなわち、ことしは落ち穂からはえたものを食べ、二年目にはまたその落ち穂からはえたものを食べ、三年目には種をまき、刈り入れ、ぶどう畑を作つてその実を食べるであろう⁵。』

30 ユダの家ののがれて残る者は再び下に根を張り、上に実を結ぶであろう。

31 すなわち残る者がエルサレムから出てき、のがれた者がシオンの山から出て来るであろう。主の熱心がこれとされるであろう⁶。』

32 それゆえ、主はアッスリヤの王について、こう仰せられる、『彼はこの町にこない、またここに矢を放たない、盾をもつてその前に来ることなく、また壘を築いてこれを攻めることはない。』

33 彼は来た道を帰つて、この町に、はいることはない。主がこれを言う。

34 私は自分のため、また私のしもべダビデのためにこの町を守つて、これを救うであろう⁷」。

列王記第二 19

35 その夜、主の使が出て、アッスリヤの陣營で十八万五千人を撃ち殺した。人々が朝早く起きて見ると、彼らは皆、死体となつていた。

36 アッスリヤの王セナケリブは立ち去り、帰つて行ってニネベにいたが、

37 その神ニスロクの神殿で礼拝していた時、その子アデランメレクとシャレゼルが、つるぎをもつて彼を殺し、ともにアララテの地へ逃げて行つた。そこでその子エサルハドンが代つて王となつた。

列王記第二 20

1 そのころ、ヒゼキヤは病氣になつて死にかかつていた。

アモツの子預言者イザヤは彼のところにきて言った、

「主はこう仰せられます、『家の人に遺言をなさい。』

あなたは死にます。生きながらえることはできません¹」。

2 そこでヒゼキヤは顔を壁に向けて主に祈つて言った、

3 『ああ主よ、私が真実を真心をもつてあなたの前に歩

み、あなたの目になうことをおこなったのをどうぞ
思い起してください」。そしてヒゼキヤは激しく泣い
た。
4 イザヤがまだ中庭を出ないうちに主の言葉が彼に臨ん
だ。
5 「引き返して、私の民の君ヒゼキヤに言いなさい、『あ
なたの父ダビデの神、主はこう仰せられる、私はあな
たの祈を聞き、あなたの涙を見た。見よ、私はあなた
をいやす。三日目にはあなたは主の宮に上るのであ
う。』
6 かつ、私はあなたのよわいを十五年増す。私はあなた
と、この町とをアッスリヤの王の手から救い、私の名
のため、また私のしもべダビデのためにこの町を守る
であらう』」。
7 そしてイザヤは言った、「干しいちじくのひとかたまり
を持ってきて、それを腫物につけさせなさい。そうす
れば直るでしょう」。
8 ヒゼキヤはイザヤに言った、「主が私をいやされる事
と、三日目に私が主の家に上ることについて、どんな
しるしがありますか」。
9 イザヤは言った、「主が約束されたことを行われること
については、主からこのしるしを得られるでしょう。
すなわち日影が十度進むか、あるいは十度退くかで
す」。
10 ヒゼキヤは答えた、「日影が十度進むことはたやすい事
です。むしろ日影を十度退かせてください」。
11 そこで預言者イザヤが主に呼ばわると、アハズの日時計
の上に進んだ日影を、十度退かせられた。

3D0:17

列王記第二20

12 そのころ、バラダンの子であるバビロンの王メロダクバ
ラダンは、手紙と贈り物を持たせて使節をヒゼキヤに
つかわした。これはヒゼキヤが病んでいることを聞い
たからである。
13 ヒゼキヤは彼らを喜び迎えて、宝物の蔵、金銀、香料、
貴重な油および武器倉、ならびにその倉庫にあるすべ
ての物を彼らに見せた。家にある物も、国にある物
も、ヒゼキヤが彼らに見せない物は一つもなかった。
14 その時、預言者イザヤはヒゼキヤ王のもとにきて言っ
た、「あの人々は何を言いましたか。どこからきたの
ですか」。ヒゼキヤは言った、「彼らは遠い国から、
バビロンからきたのです」。
15 イザヤは言った、「彼らはあなたの家で見ました
か」。ヒゼキヤは答えて言った、「私の家にある物を
皆見ました。私の倉庫のうちには、私が彼らに見せな
い物はありません」。
16 そこでイザヤはヒゼキヤに言った、「主の言葉を聞きな
さい、
17 『主は言われる、見よ、すべてあなたの家にある物、お
よび、あなたの先祖たちが今日までに積みたくわえた
物の、バビロンに運び去られる日が来る。何も残るも
のではないであらう。』
18 また、あなたの身から出るあなたの子たちも連れ去ら
れ、バビロンの王の宮殿で宦官となるであらう』」。
19 ヒゼキヤはイザヤに言った、「あなたが言われた主の
言葉は結構です」。彼は「せめて自分が世にあるあい
だ、平和と安全があれば良いことではなからうか」と
思ったからである。

ヨシヤ. 主の御霊は我を見ることがある。
2王12:2:18-20
ヤアヒン. 存命中は...
1王11:11-13